

地域交流スポーツ祭 室内ペタンク大会

6月26日（日）に「第42回地域交流スポーツ祭 室内ペタンク大会」が総合体育館メインアリーナで、3年ぶりに開催されました。

大会には、入学前の子から80歳代のおじいちゃんまで、幅広い年齢層による総勢300余名もの参加があり、スポーツで心をひとつにする微笑ましい情景と、熱戦が繰り広げられました。

地味に見える室内ペタンク競技ですが、たった一投で大逆転が起こるスリリングな面もあり、エキサイティングで、皆さんで楽しめる手軽なニュースポーツです。

各ブロックの優勝チーム

三世代				一般			
H	G	F	E	D	C	B	A
和田第22自治会	大井川西地区	大富第20自治会	焼津第4自治会	大富第18自治会	港第23自治会	東益津第16自治会	焼津第5自治会

優勝チームに聴く

東益津第16自治会

体育委員会顧問 松永秋由

いまだ終息の見えないコロナ禍ではありますが、会場では感染防止の措置がほどこされ、3年ぶりとなる室内ペタンク大会が無事に開催へと結びつけられたことは、地元の体育委員会としても悦ばしいことと感じております。

室内ペタンクは、ルールが冬季オリンピックでも人気を博しているカテゴリーに似ています。そんなこともあって「面白そう」と、初心者の方でも取っ掛かり易いスポーツかと思えます。

選手集めは「一般の部」では、年齢制限が無いことから比較的容易にできました。しかし「三世代の部」では、子供選手がスポーツ少年団や部活動に阻まれて、少し難しいところもありました。

優勝した「一般の部」のメンバーは、全員を経験者で揃えたので、勝ち方も熟知している頼もしい面々。



※代表して東益津第16自治会に投稿していただきました。

ですが「たかが室内ペタンク、されど室内ペタンク」なのでした。練習ではナイスプレーをしていたのですが、本大会ではその成果を発揮できないことも多々。しかし最終的には東益津第16自治会のチームワークの良さ、またツキも引き寄せることができ、見事に優勝することができたのでした。

（裏面に続く）

特別賞の大井川心愛

閉会式では有難くも特別賞をいただきましたが、すぐに立ち去ってしまいましたので、参加されていた皆さんには「今日来ていた大井川心愛って何だかしん？」と謎を残してしまっただけです。そこで、この紙面をお借りして自己紹介をさせていただきます。

大井川心愛は、宗高にある精神障害の方のための支援施設であり、利用者（メンバー）



が社会へ再び出ていくための足掛かりとなる『居場所』の運営を行っております。

今回、初めて室内ペタンクという名称を知ることになりましたが、当初は見当がつかずに「焼きそばの名前でしょ」などと冗談を言い合う程度でした。

ですが、障がい者スポーツ指導員の服部さんから温かいお誘いがあり、またスポーツ推進委員の皆様からは丁寧なご指導などをいただきながら、地元の大井川体育館で練習を重ねて大会に臨みました。

参加しての感想は、想像以上に真剣な大会だと感じました。成績はさておきまして、有意義な時間を皆様と共有できましたこと、大変有難く感謝致します。今回の大会が、焼津市において、誰にも開かれたスポーツイベントの先駆けだったと言われることを望み、筆を擱かせていただきます。

中野焼津市長も参戦

(中野ひこみち Facebook より)

今回の大会前に、スポーツ推進委員の役員とお話しをする機会があり「次回開催する室内ペタンク大会では、1チームがどうしても出ることができなくなった。できれば市長が代理で出場されれば盛り上がるのでは…」とご意見をいただきました。

その組まれた試合の時間帯が 運よく午前

の公務とお昼までの空いた時間でしたので、出場可能となりました。

代理ではありませんでしたが、室内ペタンク大会に選手として参戦し、市民の皆様と一緒に楽しむことができましたこと、ありがとうございます。

室内ペタンクはニュースポーツの一つであり、先の夏季パラリンピックで注目を浴びたポッチャや冬季オリンピックで人気となったカーリングに似ているゲームです。標的となる黄色いビュットという球に、自チームの赤・青のボールをいかに近付けるのかを競い合うゲームです。

和やかな雰囲気のある会場・体育館、テキパキと運営していただいていたスポーツ推進委員の皆様はじめ、各自治会体育委員の皆様、また市内多くの関係者の皆様のご尽力に、心より感謝申し上げます。

